

令和8年2月7日(土)掲載  
神奈川新聞社提供(複製禁止)

## 海外レポート @上海

中国ではアニメやキャラクターなどの知的財産(IP)を活用する「IPビジネス」が急成長している。グッズ市場は伸長を続け、2024年の3兆4千億円規模から25年には約4兆円規模まで拡大するとみられている。



この急成長をけん引しているのが、世界的ヒットとなった中国産のキャラクターである。このキャラクター販売事業は店舗を構える一方、無人販売機も多数展開することで、購買機会を最大化している。最大の特徴は「大人向けのフィギュア」という新たな市場を開拓した点であり、オフィスのデスクに飾ってあるのを目にすることも多い。

大規模イベントからも過熱するIPビジネスがうかがえる。大手動画配信サイトが上海市で開催したアニメ・ゲームの大型イベント「Bilibili World 2025」は、事前抽選制にもかかわらず延べ約40万人を動員し、多数のIP企業が出展した。

こうした市場では「ちいかわ」「ガンダム」「ポケモン」といった強力なコンテンツを持つ日系企業もIPビジネスを活発に展開しており、今後の業界動向は国内外から注目され続けるだろう。  
(横浜市上海事務所長・日吉紀之)